オイルチェンジャーエアー式

ＴＲＧ2091

取 扱 説 明 書

使用前の注意事項

この度は、オイルﾁｪﾝｼﾞｬｰエアー式をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

このオイルﾁｪﾝｼﾞｬｰエアー式は短時間かつ効果的にオイル交換をする事を目的に開発されたプロフェッショナル用の装置です。操作や機能を正しくご理解いただくため取扱説明書を必ずお読みになり、重要な警告・注意事項及び取扱方法について十分に理解された上で正しくご使用ください。

これは、身体上に重大な障害を及ぼしたり、火災・爆発などの災害を未然に防止する上でも重要です。また、取扱説明書や装置に貼付してあるラベルに記載されている以外の使用をされた場合や、必要なメンテナンスを行われなかった場合は、それが原因で故障等を起こしても保証の対象となりませんので十分にご注意ください。

この取扱説明書は、必要に応じてすぐに取り出して参照できる場所に大切に保管してください。

ご使用前に製品の破損や欠品がないことを確認してください。

万一、破損や欠品がございましたら、ご面倒でも購入先、あるいは弊社までご連絡くださるようお願いいたします。

ご使用になる前に

労働災害を発生させずに安全な作業をするため、次の注意事項及び取扱方法をよく理解して必ずお守りください。

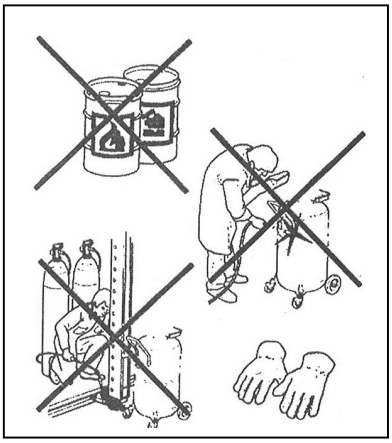
身体上の危険

1．作業中は、オイルが体に付着することがあります。
　常に適切な服装で、防護眼鏡・マスク及び手袋などの保護具を着用し、事故を防止してください。
2．オイルの圧送経路上で液漏れが発生した場合、直ちに、供給空気を遮断し、作動を止めてください。
3．換気の不十分な狭い場所での作業は、火災の危険性がありますので、必ず換気の良い場所で使用してください。
4．作業中、身体に異常を感じたら直ちに使用をやめ、医師による診断及び治療を受けてください。

爆発や火災の危険

1．エンジンオイル、ミッションオイル、ATF オイル等以外の吸入には使用しないでください。
2．ガソリン、シンナー、灯油等の引火性の高い物は絶対に使用しないでください。
3．火気のある場所、またはスパークが発生する可能性がある場所は、非常に危険ですから近くでは絶対に使用しないでください。
- タバコなどの裸火
- ストーブ・ヒーターなどの電化製品
- ドリル・サンダー及びグラインダー等の工具類
- 本体の溶接作業、溶接作業の近くや高温になる場所に保管しないでください。
　タンクが破裂する可能性があります。

4．換気の不十分な狭い場所での作業は、飛散したオイルなどに引火する可能性があり、非常に危険ですから、換気の良い場所で使用してください。



装置の誤使用による危険

1．指定使用圧力の範囲外で使用しないでください。また、供給空気中に異物や水分が入っている場合、
フィルター等を装着して装置に入るのを防止してください。装置の作動不良・故障・破損などの可能性があり、非常に危険です。

2．装置の作動中は絶対にタンクの蓋、排出コックを開けないでください。吸引したオイルが装置の外に噴出し、目など入る可能性があり、非常に危険です。

3．オイル吸い上げ以外の目的で使用しないでください。

4．装置の改造及び純正以外の部品の使用はしないでください。また、部品の破損・摩擦その他不具合が認められた場合は、直ちに部品交換をしてください。そのまま装置を使用し続けると機能が十分に発揮されないだけではなく、部品や装置の破損がさらに進み危険な可能性があります。

5．転倒や作動中の揺れを防止するため、装置は水平な場所に安定した状態で設置してください。装置に接続されたエアーホースは絶対に、引っ張ったり、重量物を
載せたり等、破損の原因を避けてください。

6．装置の修理・保守を行う場合は、タンク内のオイルが完全に排出されている事を確認し、供給空気を遮断してから行ってください。

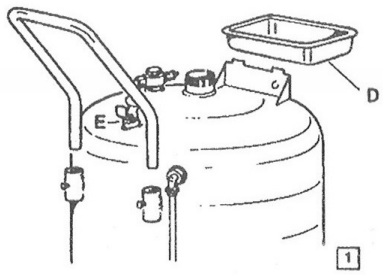
7．タンク内の廃油は早めに排出してください。
タンクに溜めすぎると火災の危険やオーバーフローの原因となります。

1．仕様

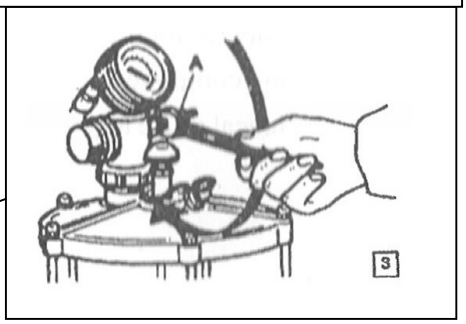
型　式　／　名　称	ＴＲＧ2091　オイルチェンジャーエアー式
駆　動　源	圧縮空気
使　用　空　気　圧　力	0.1－0.2ＭＰａ（1 – 2kgf/cm2）
俳　出　空　気　圧　力	0.05MPa（0.5kgf/cm2）
上　部　タ　ン　ク　容　量	9Ｌ
タ　ン　ク　容　量	70Ｌ
空　気　接　続　金　具	Rc 1/4,1/4” インチ（メネジ）
寸　法　及　び　質　量	全幅545cm×全奥行6510m×全高910cm　約36ｋｇ
真　空　範　囲	0.1-0.2atm
最　大　使　用　可　能　温　度	70℃以下（オイル温度）

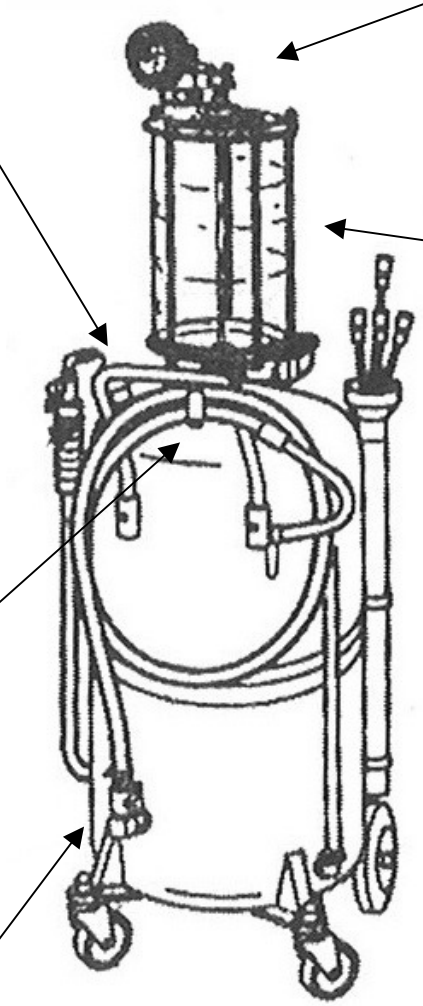
組み立て

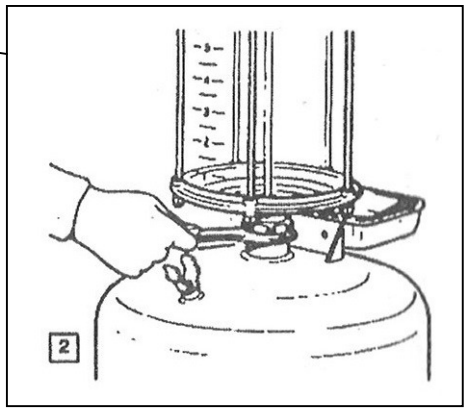
1、付属のトレーとレバーをタンク本体にしっかりと固定してください。



3、エアーチャックを取り付けてください。

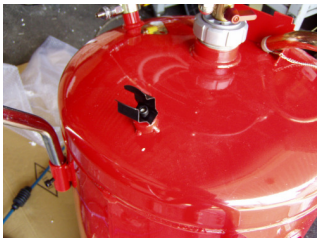


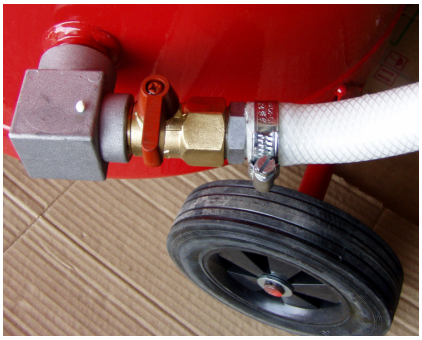




2、クリアタンクを本体のタンクに固定します（ネジ部にシール剤を塗布して接続ください）

ホース固定用の金具をタンクに固定してください





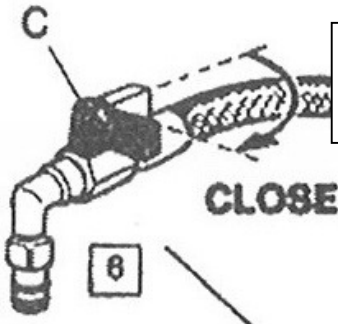
4. 付属のタンク内の廃油排出用ホースとバンドを本体タンク下部の排出口にしっかりと差込みバンドで固定してください。
(バンドが緩いとホースが外れる可能性がありますのでご注意ください。)

各コックを閉じてください。

クリアタンク部

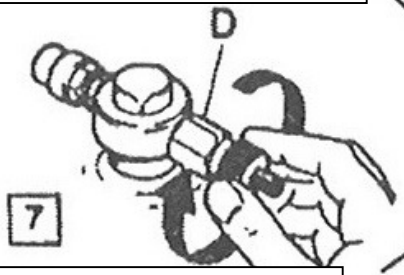
コックが開いた状態

オイル吸い上げホース

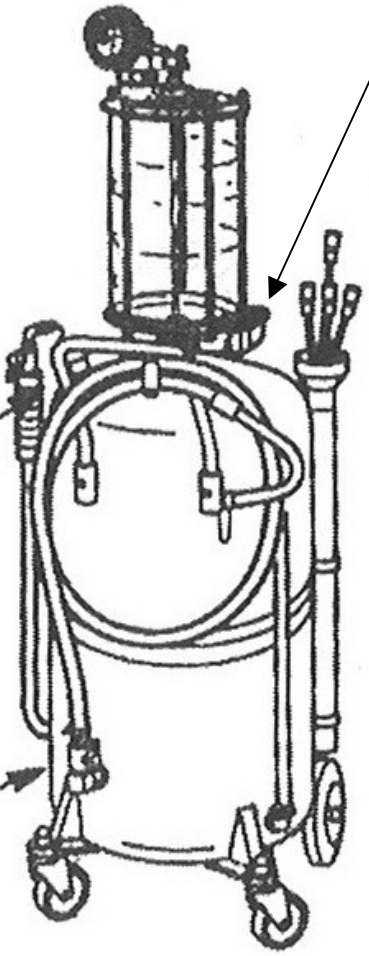


コックを横にして閉じた状態にしてください

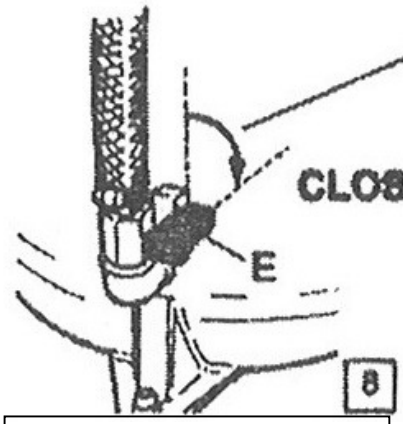
廃油排出エアー注入口



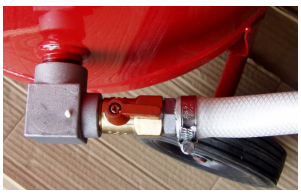
右に回して閉まっている事を確認してください



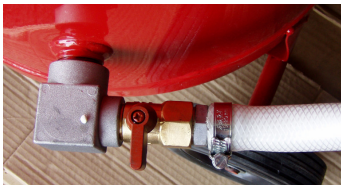
コックを横にして閉じた状態



廃油排出ホース



コックが開いた状態



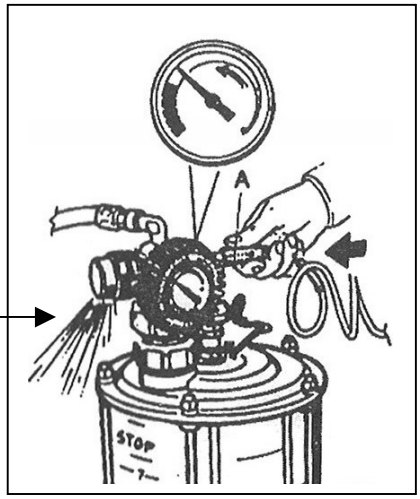
コックを横にして閉じた状態

組み立て完了後、各コックが閉じてある事を確認してエアーを接続して
エアー漏れが無いか確認をしてください。

1. A のカプラーにエアーコンプレッサーからのエアーを接続して A のエアーレギュレターをメーターの上昇を確認しながら調整してください。

エアーコンプレッサーからのエアーを調節してください。
使用エアー圧は必ず
0. 1－0.2MPa
(1 – 2kgf/cm2)で御使用ください
圧力が高いとオイルチェンジャーが破損します
メーターの緑色の範囲内で
御使用ください。
緑色以上に上昇する時は直ちに
エアーの供給を止め使用を中止してください。

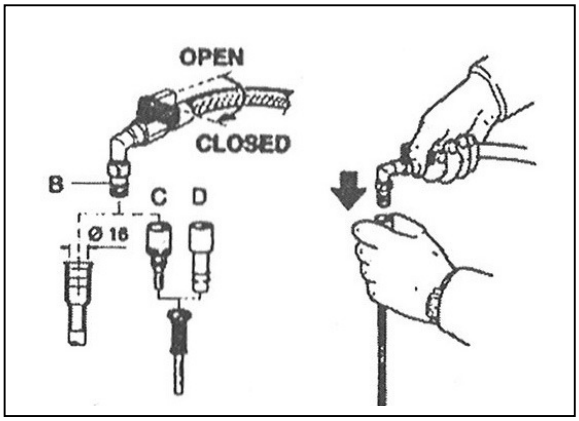
エアー排出口から
エアーが排出されるので
ご注意ください



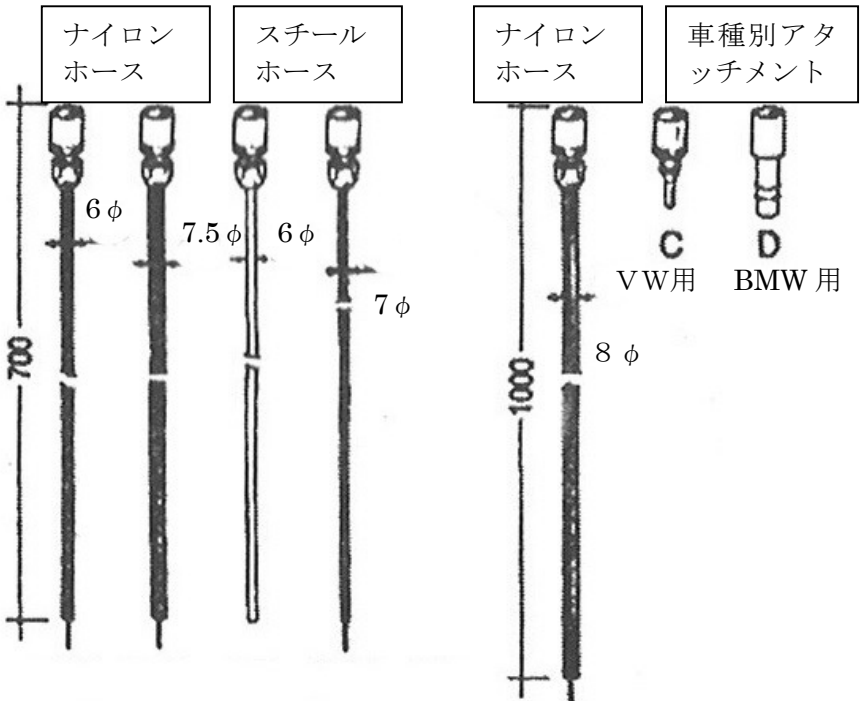
2.
メーターの針が緑色の範囲まで上昇したら、エアーの供給を止めてください。メーターの針がスムーズに上昇したかエアーが漏れてないか確認してください。
※メーターがスムーズに上昇しない場合は各コックが閉じてるか確認してください。
各接続部分が緩んでいるか、シール剤を塗布して無い為エアーが漏れている可能性があるので確認してください

メーターは右から左へ
上昇します

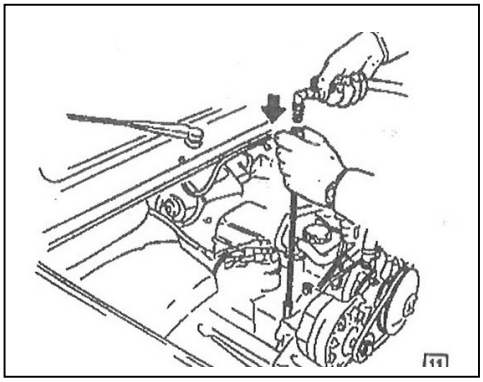
吸入用ホースアダプター



C（VW用）とD（BMW 用）は車輌のオイルノズルに直接差込んで使用します。
注意：サイズが適合する事を確認して使用してください。

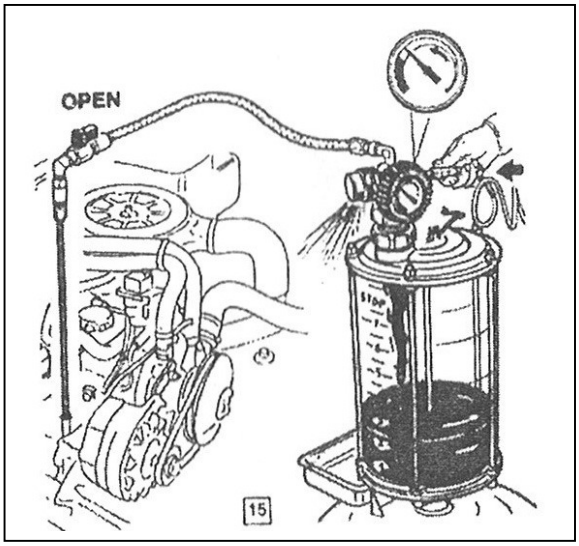


オイル吸引使用方法



1.　使用する車輌のオイルレベルゲージに
適したホースを選択して、吸入ホースに
確実に接続してください

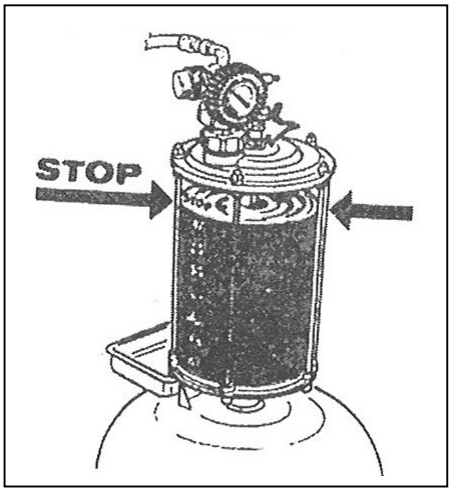
注意　使用する車輌のエンジンが高温の時は十分に冷えた状態で作業してください。
火傷をする危険がありますのでご注意ください。

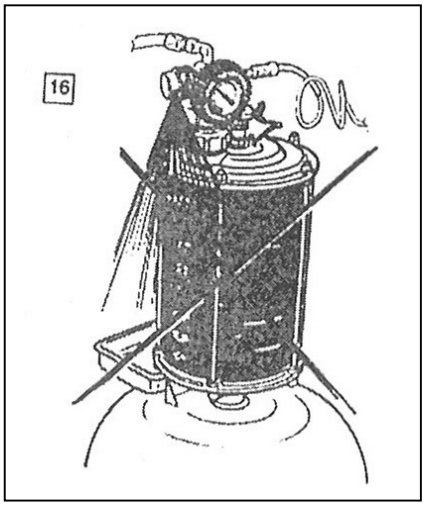


2、

オイルチェンジャーの各コックが閉じているのを
確認してください。
吸入ホースのコックを開いてください。
エアーコンプレッサーからのエアーを接続してください。
エアー接続口のエアーレギュレターでエアーを調整し
メーターの上昇とオイルを吸い上げクリアタンクに
オイルが溜まるのを確認してください。
（各接続部からオイルが漏れていない事を確認してください。
漏れがある時は直ちにエアーを外しクリアタンク下部のコック
を開いてクリアタンク内を開放してください。
漏れの部分を確認、補修してください。）

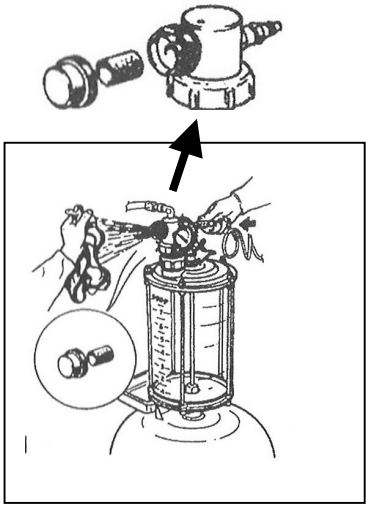
吸入を終了する時はオイルチェンジャーから
エアーを外して車からホースを外してください。
注意
使用エアー圧は必ず　0.1－0.2ＭＰａ（1 – 2kgf/cm2）で
御使用ください。





注意

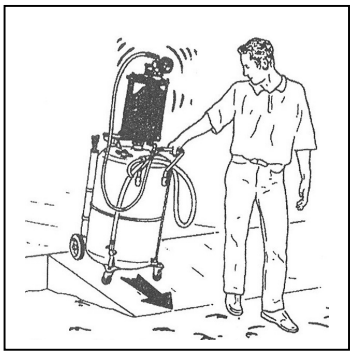
吸入するオイル量は
クリアタンクの
“STOP”線以上は
吸入しないでください。
“STOP”線以上吸引すると
オーバーフローで
エアー排出口からオイルが
噴出するので注意してください



エアー排出口の清掃方法

オーバーフローした時やエアー排出口が詰まった場合
吸引力の低下の原因となりますので定期的に清掃してください。

1. エアー排出口のカバーを取り外してウエス等で排出口に軽く被せてエアーを注入してく内部の詰まりを解消させてください

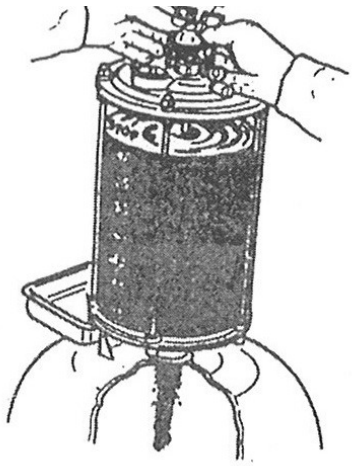


注意

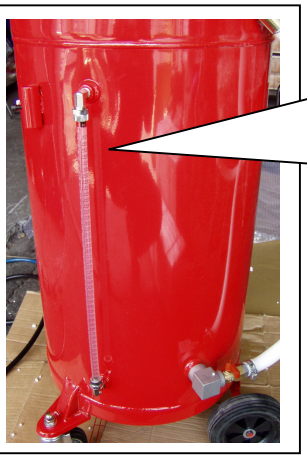
クリアタンク内にオイルが溜まった状態で
本体を傾けたり移動はしないでください
オイルが漏れの原因となります。

3、

クリアタンク内に溜まったオイルはクリアタンク下部のコックを開いて（立て方向にして）
本体タンク内に排出してください。

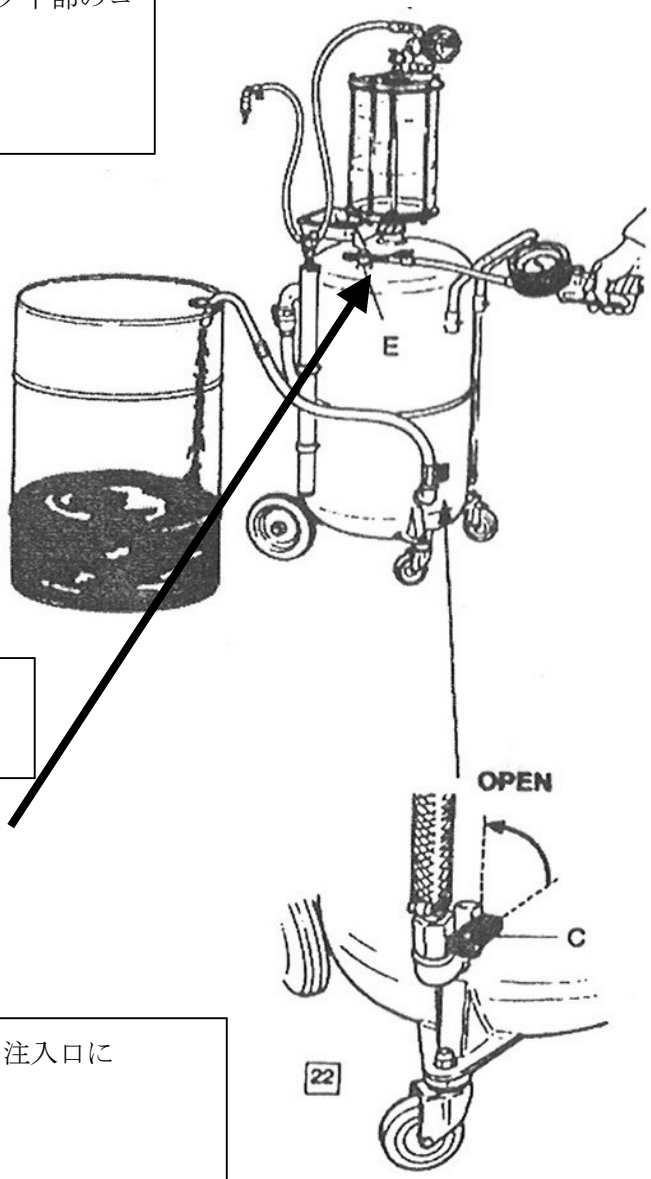


タンク内のオイルの排出方法



本体タンク横にタンク内のオイル残量ゲージがあります。
“STOP” 線以上になるまでに排出してください。
“STOP”線以上にオイルを溜めるとクリアタンクにオイルが逆流してオイル漏れの原因となります。
廃油を溜めないで早めに排出するようにしてください。

1、
本体下部に接続してある廃油排出ホースの先端部分を廃油を入れるタンク等に差込んでください。
オイル吸入ホースとクリアタンク下部のコックを閉じてください。



E
廃油排出用のエアー注入口

2、 廃油排出ホースのコックを開いてください。

3、 E の廃油排出用のエアー注入口に
タイヤの空気注入用の
エアーチャック等で
0．05MPa（0.5kgf/cm2）のエアーを
少しづつ注入してください。
廃油が排出されます。
エアー圧が高いと廃油が飛び散る可能性があります。
タンク破損の原因にもなるので
エアー圧には注意してください
排出が終了したらエアーを外して
コックを閉じてください。

輸入販売元　　有限会社　ラグナ
山口県周南市大字久米３０７６－３
TEL　0834-36-1300
FAX　0834-36-0550